



「春秋遊鹿花鳥図」秋田県立近代美術館所蔵

自然や生き物の絵を  
描きながら旅を続けた  
角館生まれの日本画家

# 小野崎 大凌展



「虎」



「双兔」

2023.

前期 7.2 [日] ~ 8.20 [日]

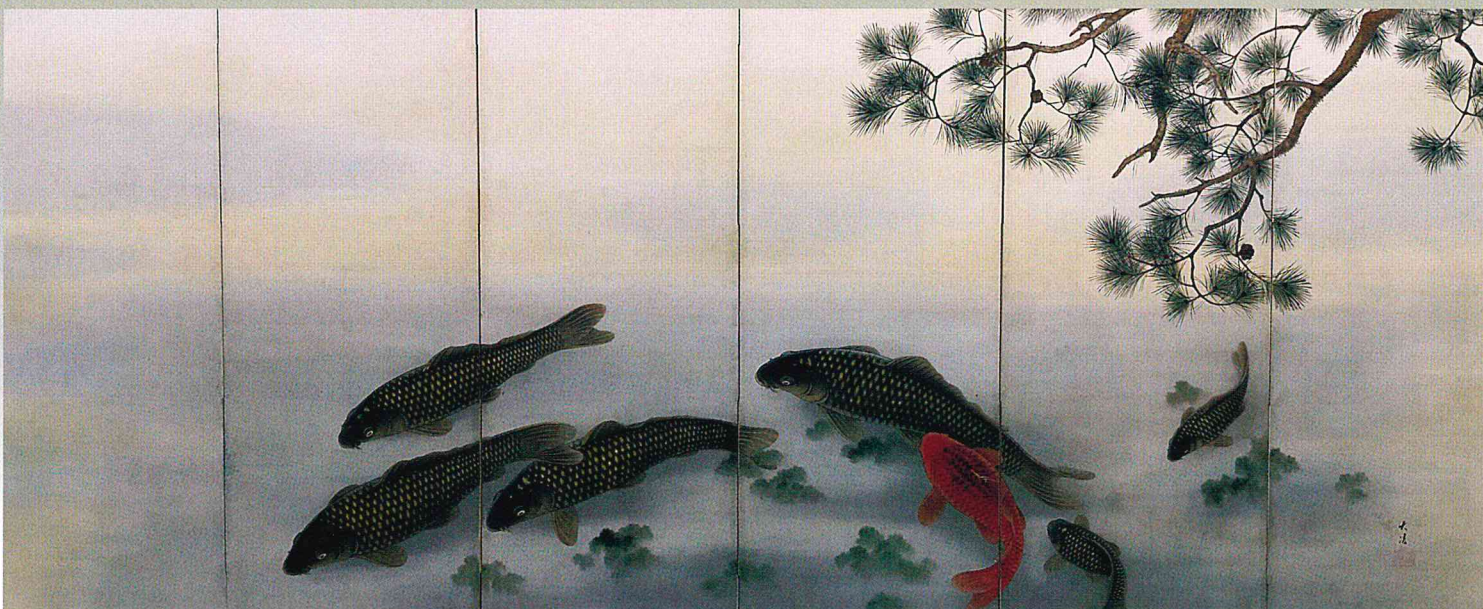
後期 8.22 [火] ~ 9.24 [日]

仙北市立角館町平福記念美術館

Onozaki Tairyō

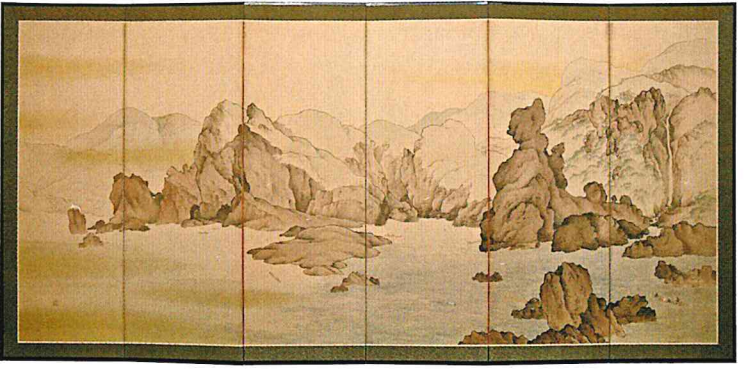
〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4  
電話 0187-54-3888 FAX 0187-54-3890

休館日 / 毎週月曜日  
開館時間 / 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)  
料 金 / 一般 500円、小中学生 300円 \*仙北市民は無料



「鯉図」





「男鹿半島図」

# 小野崎大凌展

小野崎大凌（1888・1944）は仙北市角館町出身の日本画家です。本名は儀八。絵を角館町出身の日本画家・西宮禮和（1850・1920）ひらふくすいあん平福穂庵（1844・1890）の弟子に学びました。

従兄の寺澤孝太郎（1884・1959）に誘われて画家になるべく上京。花鳥の大家として知られる荒木寛畝（1831・1915）に就いて、せいはい きぎょうほ青波、せいはき暁畝と号して本格的に作画活動を始めました。大凌は秋田市出身の日本画家・寺崎廣業（1866・1919）にも師事した時期があります。大正十三年には朝鮮、満州、台湾まで足を伸ばし、絵を描きながら旅を続けました。

近年、「男鹿半島図」（屏風六曲一双）を含む数点の大凌作品が当美術館に寄贈されたことを受け、小野崎大凌という画家を改めて知っていただければという思いから今展覧会を企画しました。

所蔵作品のほか秋田県立近代美術館や個人所蔵家の方々のご協力もいただき貴重な作品を展示しておりますのでこの機会にぜひご鑑賞ください。

角館町平福記念美術館



「清麿八幡宮参詣途次」  
秋田県立近代美術館所蔵



「秋草に鶉」

